



# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越



尾神岳ハングライダー基地 撮影：小坂靖至さん

## 「たより」No.299 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告	2
Jネットの活動とお知らせ	2
同窓会・郷友会コーナー	2
東京牧村会第28回総会・懇親会のご案内	
とれたて上越	2
なおえつうみまちアート / 第19回越後・謙信SAKEまつり	
上越の話題	3
美術館の裏話「展示会が出来るまで」	宮崎俊英
上越のカフェ	4
古民家カフェ 平左衛門 / 第15回・野良着茶会	
俳句ひろば	5
	宇賀田洋巳
会員ひろば	5
人生山あり谷あり	稲場晃美
米山	藤田憲彦
JネットHPのご案内	7
上越タイムス・上越ケーブルビジョン	7
アクセス方法のご案内	
瀧川鯉橋師匠 高座予定	7
上越産品販売のお知らせ	7
上越市からのお知らせ	8
ふるさと応援室より	
Jネットからのお知らせとお願い	8

夕立の今盛んなる雁木かな  
僧本業教師副業夏休  
踊らねば村の駐在つとまらず  
本堂の風筋を知る昼寝衆  
好き嫌いのなき子に育て茗荷汁

饒村楓石

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は580名(令和6年8月7日現在)

(2) ふるさと市場」の販売取次状況 令和6年7月 69点 120,744円 ※前年同月 85点 151,618円

## Jネットの活動とお知らせ

### ◆ 8月8日(木)湯島にてサロン開催

乾杯〜っ。毎月のサロンは上越のお酒(今日は妙高山、能鷹、雪中梅ほか)でスタートです。オードブル、お握りに、新山さん手作りの茄子の漬物、紫蘇/生姜の佃煮がテーブルを彩り、フルーツサンドは女性陣に大人気。常連は「よっ! 元気」、新しい仲間は「ようこそ」と、高校、出身地の話題などに話が弾みます。恒例の集合写真でお開き、楽しい会です! 多数の皆さんの参加をお待ちしています、初参加大歓迎です。(沼達雄 記)



8/8ご参加のみなさん

8月のサロンとしては大勢の21名の参加で賑わいました。寺内さんが初参加、舟波さんが久々の参加。差し入れは、新山さんから漬物/佃煮、平塚さんから妙高山と酒田の麓井、櫻野さんから雪中梅、ご馳走さまでした。(事務局)

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 ◆ 9月12日(木) ◆ 10月10日(木)

参加費1,500円 (予約不要・途中からのご参加もOKです。)開催時間17:30~19:00

会場: 東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」

〒110-0005東京都台東区上野1-13-6 TEL: 03-3832-7619

お問い合わせやご参加は、事務局(宮里) Mail:k.miyazato@araipt.co.jp TEL:03-5244-5138 まで

## 同窓会・郷友会コーナー

### ◆ 東京牧村会第28回総会・懇親会開催のご案内

日 時: 令和6年10月20日(日)

11時30分~14時40分(受付開始11時より)

会 場: 上野精養軒 3階 桐の間

台東区上野公園4番8号

電話: 03-3821-2181

参加費: 10,000円

【ご出席希望の方は10月1日(火)までに  
Jネット事務局へご連絡をお願いします。】



令和5年度 第27回総会・懇親会

## とれたて上越

### 1. 上越の行事

(1) なおえつ うみまちアート2024 8月24日(土)~9月16日(月・祝)

4年目を迎えた今年のキャッチフレーズは、「ひろがる、うみまち。」市民による様々な「アート」で直江津を盛り上げ、賑わいを創出し、地域の活性化の一端を担うイベントを目指しています。

直江津の様々な場所で、直江津らしい作品や、地元作家の展示があり、直江津の街並みや海、そして夕日そのものもアートとして見ることができます。また、様々なイベントも予定されています。直江津でしか味わえない様々なアートを是非ご覧ください。

最新の情報はホームページからどうぞ→<https://naoetsu-umimachi.com/>

なおえつ  
うみまち  
アート  
みんなでつなごう  
なおえつ うみまちアート 2024

## (2) 第19回 越後・謙信SAKEまつり2024

上越地域で造られる日本酒、ワイン、クラフトビールなどの様々なお酒を試飲できます。地元グルメも多数出店。上越のお酒、食文化が丸ごと味わえます。

皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

会 期：令和6年10月19日(土)、20日(日)

参加費：1日、3,000円 2日通し、4,000円

会 場：高田本町商店街

主 催：越後・謙信SAKEまつり実行委員会

T E L：025-521-2627

最新の情報はホームページからどうぞ

<https://www.kenshinsake.com>



今年のSAKEまつりの様子（上越市提供）

## 上越の話題

### ◆ 美術館の裏話 「展覧会が出来るまで」

高田文化協会事務局長 宮崎俊英

3月末で8年間務めた小林古径記念美術館を退職し、4月から高田文化協会に勤務しています。今回は、館での仕事を振り返り、展覧会がどう作られていくかを紹介します。

#### 「展覧会はどのように決まるのか」

小林古径記念美術館（以下古径美）は、年に8本の企画展を行います。古径と古径に関係する作家、及び上越ゆかりの作家の展覧会を開催するという方針があります。また、生誕何年という周年で開催する場合も多いです。ですから、シャガールの展覧会をすることはまずありません。もし古径がシャガールの絵から影響を受けたという新事実が明らかになれば開催できるかもしれません。

#### 「いつから準備をはじめめるのか」

作品借用のため、数年前から企画書を作成し、作品リストを固め、借用交渉を始めます。前年には、広報、展示の造作、図録、保険やイベント内容を固め予算化します。古径美の学芸員は館長を含め4名です。企画展は2名で担当しますから、常に複数の展覧会準備を進めています。

#### 「予算規模はどのくらい」

借用の運搬料、保険料が予算規模に大きく関わります。例えば生誕140年小林古径展は、作品を全国から借用したので数百万規模です。作品の評価額に合わせて保険も掛けます。これが外国から借用となると保険料と併せ数千万になることもあります。

#### 「裏話1 ロシアの学芸員を連れて寺泊へ」

新潟県立近代美術館勤務のとき、夏にエルミタージュ美術館展がありました。ロシアから5名の学芸員を迎え、1週間にも渡り展示をしました。彼らは急に休日に海に行きたいと言い出したのです。皆水着を持参していたのです。海で遊ぶロシア人が溺れないか監視したり、スイカ割をさせたり。接待も大事な仕事です。その後の展示が大いにはかどりました。

#### 「裏話2 玉井力三ってだれ」

現在玉井力三展を開催していますが、5年前まで古径美の学芸員は玉井力三という作家の存在を知らなかったのです。出身である柿崎の有志が展覧会を企画し、それに協力して存在を知り、ご子息の協力を得て調査、そして東京での展覧会を経ての地元上越での開催となり、懐かしい昭和の小学館学年誌の表紙絵を描いていたのが玉井だったのかと話題になっています。

東京では、優れた多くの展覧会が開催され、上越から見ると羨ましい限りです。

様々な困難を乗り越えて集められた展覧会です。チャンスがあればぜひ。



### ◆ 古民家カフェ 平左衛門(へいざえもん)

上越市桑取谷の最奥、横畑集落に素敵な古民家カフェがあります。

築170年の茅葺古民家を10年の歳月をかけ、柱や梁などの基本構造はそのまま生かし、リノベーションして生まれ変わったカフェです。谷にある古民家は、それぞれの集落の近くの山々の材料で建てられており、柱の樫をはじめ、杉や松、栗、楓などが使われています。根まがり材は積雪に強く、太い無垢材による、「柱・貫構造」により耐震構造、また屋根は免震構造になっています。

自然に囲まれた、落ち着く空間で、郷土料理を取り入れた定食のほか、定番のカレーや湧き水で入れた挽きたて珈琲、糨甘酒、スイーツなどがいただけます。

訪問した7/13は、桑取ごっつお定食を注文し、7～8月の旬のゆうがお入りのクジラ汁を美味しくいただきました。

古民家カフェ 平左衛門 〒949-1739 新潟県上越市横畑5 2 4 TEL：080-6558-1728

営業期間 令和6年4月12日から12月1日まで (冬期は雪により休業)

営業日時 金・土・日・祝日の11:00-16:00



桑取ごっつお定食

この日は、近くで行われていた野良着茶会へも行きました。大自然の中で、木の上の舞台上、お茶をいただきました。(小坂恵美 記)

### ◆ 第15回 野良着茶会

中ノ俣集落の角間の見晴らしの良い木の上に、棚田を見下ろす茶席や待合ができていました。夏椿が枝葉を広げ屋根のようになっています。もともとは集落の方々を労う席として用意されており、初めには山の神様への献茶。その後に、美味しいお茶を頂きました。受付でもある清兵衛も、古い道具などが飾られていて素敵な雰囲気。茶会後は、きんざえもんで、集落のお母さんたちの地元の食材のお惣菜をいただきました。(小坂恵美 記)



大自然の中の木の上の舞台



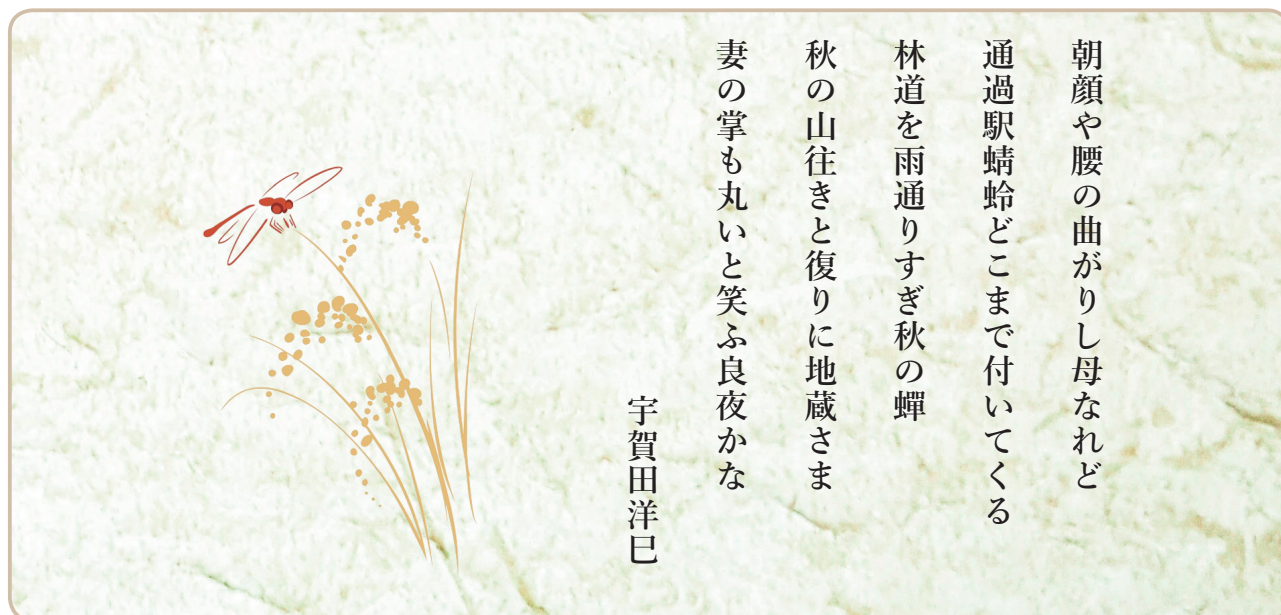
清兵衛邸



山の神様への献茶



## 俳句ひろば



朝顔や腰の曲がりし母なれど

通過駅蜻蛉どこまで付いてくる

林道を雨通りすぎ秋の蟬

秋の山往きと復りに地藏さま

妻の掌も丸いと笑ふ良夜かな

宇賀田洋巳

## 会員ひろば

### ◆人生山あり谷あり

稲場晃美



2014年4月に上越市民になって早や10年になります。上越に住むきっかけになったのは、主人の4回目の心臓カテーテル手術。当時、東京都大田区蒲田に住んでおり、家賃12万円を支払いつつ、いつ回復するかどうかわからない主人を支えられるかという不安。主人は直江津工業出身者でしたので、慣れ親しんだ上越に住めば体調も良くなるかもしれない。そう期待しての移住でした。私は、神奈川県川崎市の出身。東京では不動産の仕事で分刻みのスケジュールをこなしており、自分の仕事より主人の命の方が大切だと、今まで積み上げてきたキャリアも全部投げ捨て、勢いで引越してきたものの、最初に勤めた会社で朝の挨拶を上司に「お疲れ様です」と普通に申し上げたら、「朝から疲れていない」と叱られ、文化や仕事のスピード感等いろいろなギャップに戸惑い、初年度はすっかり日本海ブルーでした。

そんな中、Facebookでスローライフナビゲータとして、東京にいる友人たちに、「晃美ちゃん遠いところに引越してかわいそう」って思われないように、上越の美味しいものやら素敵なところを発信していたら、なんてことはない「県外へお引越した元上越市民の方」からの評判がよく、「あのお店の一押しはコレ」「あのお店がおススメ」様々な方から色々なことを教えて頂くようになり、日本酒とラーメンがご縁で友達が増え、なんと上越市の「移住インフルエンサー」にお声がけ頂くようになりました。

残念ながら令和元年に主人は他界。私が上越に積極的に住んでいる理由がなくなったわけですが、平成29年に主人に内緒で立ち上げた不動産会社があり、令和6年7月で7期を無事に終えようとしております。これも、本当に上越のたくさんの友人や仕事を支えてくれる仲間のおかげです。現在は、不動産相続の専門家として東京と上越を行ったり来たりしながら、不動産の生前対策の大切さに気づいて頂く活動しております。世界にたった一つの実家のことで家族が争うことがないように、税理士や司法書士などの専門家とチームを組んで、相続税の申告や不動産の名義変更手続きや銀行等の解約などのワンストップサービスを行っています。これからも、不動産相続を通して笑顔相続の普及を行い、地域の皆様のお役にたてれば幸いです。これからあと20年くらいは現役で頑張る所存ですので、これからもよろしくをお願いします。

**高田デザインスタジオ**「すまいと想いのバトンを繋ぎ、みんなの笑顔を100年先へ」

稲場さんは、笑顔相続サロン®南青山、高田デザインスタジオ、共に代表。1/25号でも紹介しましたが、共著に「相続ワードの伝え方」(日本法令)があります。  
(事務局)

今から30数年も前のことです。上越市柿崎区に生まれ育った私は、高田高校に通うために高校近くの南城町に下宿をすることになりました。両親は仕事の関係で新潟市に長く赴任していて、私は15歳で親元を離れました。そして当時元気だった祖父は、柿崎の実家で一人残って暮らしていました。同じ県内であっても、高田と新潟市の距離は130キロもあり、東京―高崎間と同じくらいの距離があります。それゆえ、家族全員が実家に集まるのは年に数度しかありませんでした。

そして、柿崎といっても市街地ではなく、平野の真ん中の田んぼに囲まれたところにある私の実家までは、電車に乗って柿崎駅から歩いて帰るのは難しく、路線バスも限られていたので、もっぱら高速バスに乗って週末に帰っていました。当時は高田駅前から今は廃止された柿崎運転免許試験場行き的高速バスが走っていて、金曜日の夕方になると学校もそこそこに高速バスに乗り込んで家路を急いだものでした。

そんな私にとって、窓の景色からいつも目印として見つめていたのは米山の姿です。標高1,000メートル足らずですが、独立峰で三角錐の形をした山は遠くからでも見つけやすく、バスに乗るといつも、米山がよく見える右側の座席に座り、揺れる車窓からじっとその姿を見つめていました。

東京23区の1.5倍の面積のある、広い上越市の東の端にやや控えめに鎮座する米山は、そこで育った私にとっては心の山であり、ふるさとの象徴でもあります。帰省の際には、かつてと同じように、車窓から米山の姿を探しています。もちろん、上越を代表する山と言えば妙高であり火打であり、それぞれ百名山としても名高く、高田高校の校歌にも妙高山がうたわれています。一方で、自分が卒業した米山のふもとの小さな校舎の下黒川小学校の校歌は、「明けゆく朝の日に映えて、光輝く米山の」という節から始まります。それだけ、たとえどんなに小さくても、地元の山というものは人の心を捉え、掴み、よりどころとする力があるのだと思います。

そして先日、ふるさと上越のカレンダーの7月、8月をめぐった時に、佐藤俊一さんという方が撮影された二重の虹がかかった米山の写真があり、その素晴らしさに息を飲みました。それは一目で、実家のほど近いところで撮影されたものであると分かり、もの心ついた頃からの自分の原風景そのものだったからです。とても嬉しい気持ちになりました。

今年も月日は過ぎ、季節も移り変わっていますが、この写真は秋になってもカレンダーから切り出され、東京の自宅の中で鎮座することになると思います。



♪たより / 掲載記事への感想ありがとうございます。

たより7月25日号の感想が、早稲田大学山岳部OB会長の吉越昌治さんから寄せられました。

～斜めの家～

中野さんと祖父江さんの投稿を実に楽しく読ませていただきました。ビックリしたのは中野さん寄稿に、建築家・渡邊洋治さんが「吉阪隆正先生」の助手として活躍された、とありました。吉阪先生は建築家であるとともに山岳部OBでした。1981年のK2登山隊を組織した中心人物でした。

コロナの最中、山岳部は100周年を迎えましたが、祝賀会は中止、記念誌を発行しました。その中に、「K2からの眺め大谷映芳（昭和46年卒）」があり、以下のように書かれています。

『大きな問題はやはり遠征資金で、具体的にどうするのかだった。迷っている私たちに手を差し伸べてくれたのが、吉阪隆正先生だった。当時、先生は山岳部長であり理工学部長であった。』

我々の近場で吉阪先生が設計されたのは、妙高山外輪の大倉乗越から下ったところにある「黒沢池ヒュッテ」です。

<<https://www.yamareco.com/modules/yamainfo/ptinfo.php?ptid=1867>>黒沢池ヒュッテ | 黒沢池の近くに建つドーム型の山小屋

～小坂さんの市営球場～

本格的な試合を観た記憶がよみがえりました。小学生の時15歳上の兄に連れられて、アマチュア野球ですが、法政大学（後に広島で活躍した山本一義選手が主力）と実業団確か日軽金の試合です。

### ◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、右のQRコードからご覧いただけます



## 上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

### ◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。

## 瀧川鯉橋師匠 高座予定 鯉橋：090-4730-9032 rik\_yoh\_taki@taupe.plala.or.jp (鯉橋メール)

- |  |   |
|--|---|
| <p>◇9/1(日)横浜にぎわい座<br/>時 間：午後2時～4時<br/>木戸銭：2,800円(65才以上2,800円)<br/>出 演：遊京、京太・ゆめ子(漫才)、鯉橋《仲入り》<br/>ダーク広和(奇術)、正雀(以上出演順)<br/>お問合せ：045-231-2515(にぎわい座チケット専用)</p> <p>◇9/1(日)～10(火)新宿末広亭・夜席<br/>時 間：午後4時半～8時半 ※鯉橋は5時半ごろ<br/>交互出演の為出演日未定<br/>木戸銭：3,000円<br/>主 任：桃之助 ほかに桃太郎、小痴楽、<br/>ザ・ニュースペーパーなど出演<br/>お問合せ：03-3354-2974(末広亭)</p> <p>◇9/16(月・祝)～20(金)<br/>浅草演芸ホール・夜の部＝鯉橋主任興行＝<br/>時 間：午後5時～8時半 木戸銭：3,000円<br/>主 任：鯉橋 ほかに桃太郎、楽輔、うめ吉など出演<br/>お問合せ：03-3841-6545(浅草演芸ホール)</p> | <p>◇9/17(火)七人の侍～流浪の落語勉強会～<br/>時 間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1,500円<br/>出 演：鯉朝、枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、藍馬<br/>会 場：お江戸両国亭(両国4-30-4)<br/>お問合せ：090-6520-9252(鳳志)</p> <p>◇9/22(日)梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」<br/>時 間：午後1時～3時ごろ 木戸銭：2,500円<br/>出 演：鯉橋、小助六、夢丸<br/>会 場：いろは亭(北区上中里3丁目1-4)<br/>お問合せ：070-3318-5397(「いろは亭」受付担当)</p> <p>◇9/23(月・祝)グリーンホール八起寄席<br/>時 間：午後2時～4時<br/>木戸銭：2,000円(予約・1,700円)、65才以上1,500円(予約・1,200円)<br/>出 演：遊子、鯉橋、頼光、談之助(以上出演順)<br/>会 場：グリーンホール相模女子大学(相模大野)<br/>お問合せ：042-749-2200(グリーンホール)</p> <p>◇10/24(木)上野広小路亭・夜の部、桃之助さんの会</p> |
|--|---|

☆ブログ『～七転び八起の末のホンダラダ～』 <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

## 上越産品販売のお知らせ

### ● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。  
現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。

### ● 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。 「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

### ● 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から約3分)



場 所：有楽町交通会館1階  
営業時間：11：00～19：00  
年中無休(年末年始は休業)

「雪国商店」または下記のURLよりご覧ください。

<https://yukiguni.shop/>

### ● 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」

日 時：9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝)

「上越市農産物フェスタ」開催！

9月28日(土)・29日(日)

10月12日(土)・13日(日)・26日(土)・27日(日)

時 間：11：30～17：30

「雪国商店」&「雪国マルシェ」お問合せ先 JCV 東京情報センター TEL：03-5218-7730

## 上越市からのお知らせ

### ◆ 首都圏におけるイベント開催について

8月1日～4日までの4日間、東京ビッグサイトで開催された「Rakuten Optimism 2024」に上越市としてブース出展し、日本酒やワイン、ラーメン等の提供を通じて、ふるさと納税のPRを行いました。

ふるさと納税返礼品や地元食材を使ったグルメを直接体験できる機会ということもあり、長蛇の列ができるなど、会期中、多くの来場者に当市自慢の逸品を楽しんでいただきました。

今後も首都圏でのイベントを通じて、当市の魅力を積極的に発信して参りますので、Jネットの皆様もぜひご参加いただけますたら幸いです。



Rakuten Optimism 2024

### 【首都圏で開催を予定している主なイベント】

9月14日(土)～16日(月・祝)「上越市農産物フェスタ」(東京交通会館)

10月26日(土)「さとふる祭り 2024inTOKYO」(アーバンドックららぽーと豊洲)

総合政策課 ふるさと応援室 TEL: 025-520-5625

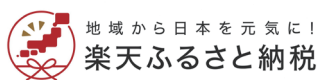
### ◆ ふるさと上越への応援をお願いします

～下記のポータルサイトに、上越市のお礼の品を掲載しています。



au PAY ふるさと納税

※ふるさとチョイスと一部返礼品の連携をしています。



・左のQRコードからふるさと納税9ポータルサイトの情報をご覧ください。

※紙カタログのご用意もあります。

ふるさと応援室 (TEL: 025-520-5625) までお気軽にお問合せください。

### ●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●

会員の皆様には、ご自分の思い出やご経験、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1,200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。

投句もお待ちしています。

さらに、たよりにについての感想、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしています。

(いただいた感想は、会員ひろばに掲載いたします。)

Mail 送信先 事務局: k.miyazato@araipt.co.jp

◆ 表紙・今後もしくはは饒村楓石先生(元高田高校教師)の御歌をご紹介します。



越後よしかわやっつれ祭り 2024.8.3(土)  
撮影: 松本栄規さん

◎ 次号「たよりに」は令和6年10月10日の発行です。